



## 「増田塾」は何時から始まるのですか

2021年1月6日の各州選挙人の大統領選出証明書に基づく米上院・下院合同会議で次期大統領が決まるまでか、あるいはその結果によってはその後アメリカの天地がひっくり返るような恐ろしい事件が起きると予測をしている。そしてそのわけと詳細は「増田塾(インターネット国際政経塾)」の冒頭で述べることになっている。「増田塾」(20講座)は何時から始まるのですかという質問が増えてきたが、まだお答え出来ない事情がある。

歴代のキングメーカーとしてCFR(外交問題評議会)は2016年の大統領選で、票の上ではヒラリーが勝っていたがトランプを選んだ。しかし今回得票集計・管理マシンはトランプの票をバイデンにすり替えた。CFRはトランプを見捨てたのだろうか。

バイデンの新閣僚名を見るとほとんどトランプが潰そうとしている軍産のメンバー、かつてのブッシュ中東戦争政権時のような顔ぶれである。

ブッシュ政権の戦略サポーターはジャパンハンドリング(日本を操る)CSIS(戦略国際問題研究所)であった。前回の本誌で、CSISが安倍首相を親中路線に誘導したとして今井尚哉首相主席補佐官と二階俊博幹事長を批判したが(7月末)、とたんに安倍首相辞任(8月25日)、今井左遷、二階派議員河井克介、案里(公職選挙法違反)と秋元司(IR汚職)が逮捕され二階幹事長は窮地に追い込まれていると述べた。

軍産複合体の為にCSISがアジアの軍事緊張を高める政策を展開する為には日本の親中派は邪魔なのである。

今回の軍産中心のバイデン人事のほとんどは、こともあろうに軍産を潰す為にトランプを選んだCFR(外交問題評議会)の推薦通りになっている。

トランプ政権に軍産を潰す政策提言をしている張本人(CFR)が軍産分子をバイデン政権に送り込むとはどういうことなのか。

ブッシュは9/11をきっかけに長きにわたり中東戦争を遂行したが、現在イラクはシーア派(イラン)政権、シリアはロシア(イラン)が制することになりオバマ政権もトランプも米軍撤退を余儀なくされている。結果軍産は中東覇権を失い今やトランプに潰されようとしている。CSISがブッシュを動かして展開した中東戦略は失敗に終わったのである。

CSISとは正反対にトランプ政権にアメリカの軍事覇権を終わらせる戦略を主導しているCFRがバイデンに軍産主導型人事を勧めているのだから当然そこには「裏」がある。

今一つCFRとCSISに私の目で確かめたいことがある。

私の読みの裏が取れば「大事件」の時期と内容を「増田塾」で詳しく話すことが出来る。

とにかく「アメリカの天地がひっくり返る重大事件」だから急がず慎重に動いている。

アメリカの天地がひっくり返れば日本は想像を絶する事態になることは間違いない。

これほど待ち甲斐があることは又とないだろう。